

学部の DP

DP1	DP2	DP3	DP4
経営学・経済学分野における知識を体系的に学び、複雑化する現代社会を複眼的な視点で捉えることができる。	その専門性を自己存在や社会・文化および自然に関する学びと関連させて深め、より統合的に把握された理解へと進展させることができる。	社会生活を営むうえで必要なコミュニケーションや情報リテラシー等の技能を身につけるとともに、地域社会の一員としての自覚をもち、自己を律し他者と協働して、地域社会の発展のために積極的に関わることができる。	得られた知識や技能を活用して、自らの課題を発見し解決しようとする姿勢を保持し、自分自身の生き方の根源を見つめつつ、生きることが学ぶことであるかのように、生涯にわたって学びを続けることができる。

学科の DP

	DP1	DP2	DP3
経営学科	市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる人材	組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点を当てながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材	会計データを読み、資金の調達や運用に関わる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示できる人材
経済学科	金融、証券の専門知識をもとに、各種企業、組織でのファイナンスの問題を解決できる人材	行政や非民間部門における政策分析を行う能力をもつとともに、プロとしての評価や判断が的確にできる人材	企業経営、地域経済、国際経済等の様々なレベルで生起する経済問題を分析する能力をもち、それを解決できる人材
地域みらい学科	地域の基幹産業や地場産業等の経済活動領域において、新たな事業を創造し、複合事業の開拓を目指す、地域ビジネスの起業家、リーダーとなる人材	自治体、社会的企業、NPO等の公共活動領域において、ビジネス感覚に満ちた政策立案、実行、新たな組織運営を目指す、地域行政、地域コミュニティ推進のリーダーとなる人材	